



奈良県感染症情報

平成 31 年 第 14 週(4 月 1 日～ 4 月 7 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	6.56	(4.62)	→	→	→	↓
2	A群溶連菌咽頭炎	1.59	(1.24)	→	↗	↘	↑↑
3	インフルエンザ	0.85	(1.05)	↓	↓	↓	↓
4	RS ウイルス感染症	0.56	(0.97)	↘	↘	↘	↓
5	突発性発しん	0.32	(0.35)	→	↑	↘	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎の報告数が増加しています。特に中和保健所管内西部地域で急増しており、定点あたり報告数が 13.5 と高くなっています。春先に流行するロタウイルスによる胃腸炎が増加しているとみられ、保健研究センターの検査でもロタウイルスの検出が増えています。乳幼児に多い感染症ですが、年長児や大人も感染することがあります。感染者の便には大量のウイルスが含まれていますので、おむつの交換後やトイレの後は流水と石けんによる丁寧な手洗いを行い、感染を拡げないようにしてください。

これから気温が上がってくると、夏の感染症(咽頭結膜熱や手足口病、ヘルパンギーナ)が増加します。日頃から基本的な感染症予防対策の手洗い・うがいを心がけましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

気温も暖かくなり、春休み中でもあり感染症は少なくなっています。インフルエンザはほぼ無くなりました。保育園児で嘔吐と下痢の感染性胃腸炎が増えています。迅速検査ではロタウイルスが陽性の子がいます。当院ではロタウイルスワクチン接種済みの方が多く、嘔吐はほぼ無く、下痢が主体です。RS ウイルスによる気管支炎も出ています。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザは殆ど見られなくなったがインフルエンザ B がまだ稀にみられる。
 感染性腸炎が続いてみられる。ノロ様、軽症。
 幼児でhMPV 気管支炎が流行中、検査陽性例もあり。
 短期の発熱、乾性、頻回の咳嗽が特徴の印象。
 アデノウイルス咽頭炎も流行中。
 手足口病があったがその後増加は見られない。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

インフルエンザは A 型、B 型ともまだ散見されている。ロタウイルスを中心とした感染性胃腸炎は続いている。
 遷延する呼吸器症状でヒトメタニューモウイルス陽性例が増多。特に乳幼児は重症化する例があり注意を要する。
 咽頭結膜熱がみられ始めた。



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 31 年 第 14 週 4 月 1 日 ~ 7 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	47 (0.85)	15 (1.07)	6 (0.43)	8 (0.73)	13 (1.30)	2 (1.00)	3 (0.75)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	19 (0.56)	4 (0.44)	2 (0.22)	6 (0.86)	7 (1.17)			
咽頭結膜熱	8 (0.24)	3 (0.33)	1 (0.11)	2 (0.29)	2 (0.33)			
A群溶連菌咽頭炎	54 (1.59)	13 (1.44)	9 (1.00)	5 (0.71)	23 (3.83)		4 (2.00)	
感染性胃腸炎	223 (6.56)	48 (5.33)	49 (5.44)	40 (5.71)	81 (13.50)	2 (2.00)	3 (1.50)	
水痘	7 (0.21)	4 (0.44)	2 (0.22)		1 (0.17)			
手足口病	6 (0.18)	2 (0.22)		1 (0.14)	3 (0.50)			
伝染性紅斑	7 (0.21)		7 (0.78)					
突発性発しん	11 (0.32)	3 (0.33)	2 (0.22)	1 (0.14)	4 (0.67)		1 (0.50)	
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	2 (0.06)		1 (0.11)	1 (0.14)				
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	8 (0.80)	3 (1.00)	1 (0.33)	4 (2.00)				
葛城定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	3 (0.50)		1 (0.50)		2 (2.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	6 (1.00)				4 (4.00)		2 (2.00)	

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核9件(奈良市4、郡山2、中和3)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(中和1) 百日咳1件(奈良市1、9歳)

❖ 第 14 週のトピックス ❖

◆IDWR 2019年第10号<注目すべき感染症>麻疹 2019年第1~10週
<https://www.niid.go.jp/niid/ia/id/656-disease-based/ma/measles/idsc/idwr-topic/8678-idwrc-1910.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男			2	1	1	1	2		2		1	2	3		1	2		3		1	22	5468	
	女				7	3		1	1		1		3		1	1	2		3	2		25	5633	
RSウイルス感染症	男	2	2	2	2	1																9	152	
	女	4	1	2	1	2																10	132	
咽頭結膜熱	男			3								1										4	109	
	女			2	1				1													4	69	
A群溶連菌咽頭炎	男			2	1	3	4	2	4	3	5	4	2		1							31	455	
	女			3	2	4	3	4		2		1		4								23	364	
感染性胃腸炎	男		5	23	18	17	6	3	8	7	3	3	10	3	7							113	1545	
	女	1	8	19	17	7	13	10	3	4	3	3	5	1	16							110	1401	
水痘	男		1					1			2											5	65	
	女			1											1							2	60	
手足口病	男			2	1																	3	48	
	女			3																		3	50	
伝染性紅斑	男					1			1			2										4	33	
	女					1	1	1														3	27	
突発性発しん	男		2		1																	3	77	
	女		2	4	1			1														8	68	
ヘルパンギーナ	男																						6	
	女																						3	
流行性耳下腺炎	男							1					1									1	7	
	女																					1	10	
急性出血性結膜炎	男																							
	女												1			1						5	43	
流行性角結膜炎	男				1	1											1					3	48	
	女													1			1				1			
細菌性髄膜炎	男																						2	
	女																						2	
無菌性髄膜炎	男																						1	
	女																						1	
マイコプラズマ肺炎	男				1																	1	10	
	女				2																	2	11	
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男		1	1																		2	15	
	女	1	2	1																		4	14	

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H31 ▲ H30 □ H29 〰 過去10年平均

